

夏の教室質問リスト（要約）

■鈴木先生

- 質問多数ですが、ここでは省略します。

■吉川先生

- ① スライド p.14 での「明治以降の人口増」は、「人口オーナス期」と言った方がしっくりくるのですが、それでよいのでしょうか。（淵江高、山下）

スライド 14 の「明治以降の人口」は人口が増えているわけですから、言葉としては「人口オーナス期」ということになります。現在は人口減少で、「人口オーナス」と言われますが、図の要点は増える・減るにせよ、人口が経済をすべて決めるのではない、ということです。

- ② 日本において格差を拡大せずにイノベーションを誘発するにはどのような方法がありますか。（専大附属、金指）

格差の拡大とイノベーションの誘発は直接リンクするものではないので、とりあえず別のものと考えてください。イノベーションによる経済成長は平均を上げるものです。

- ③ 日本でもアメリカの様に分離や差別が起こりうるのでしょうか。その時には、日本の財政の破たんの可能性はありますか。また、日本の税制や社会保障はどうなるのでしょうか。

（大川学園、本澤）

格差の防波堤が社会保障です。その社会保障のお金が十分でないため、制度を守るために国のお金が使われ、財政赤字が拡大しています。格差社会を防ぐためには、日本人全体として、ヨーロッパのようにもう少し税負担をする必要があると思います。

■村田先生

- ① 新科目「歴史総合」ではスナナ派やシーア派を教えないという話もあります。宗教や民族、エスニシティに関する高校での教育に期待するものは何でしょうか。（大崎高、船坂）

宗教やエスニシティについては、歴史以外の様々な機会に考える手がかりを与えるべきだと思います。

- ② 北朝鮮には各国が援助をして経済発展から体制変換を考えた方がコスト安だと思うのですが、その可能性はありますか。（久喜北陽高、高野）

可能ですが、核凍結の保証と人権状況の改善が条件になるでしょう。

- ③ アメリカの選挙制度は、貧困者が選挙に行けないようなシステムになっていると聞きましたが、それに対する対応はされておりますか。（同、高野）

制度的に制約されているわけではありません。総じて、アメリカの大統領選挙への投票率は50%で高くありません。

■大塚先生

- ① 新聞への投書の件、なぜ全国紙で地方紙はないのでしょうか、誰が掲載され、掲載された生徒に対する評価は、なぜ外へ出すのでしょうか。小論文対策なのでしょうか。

(花巻北、夏井)

大阪の場合、そもそも地方紙と全国紙という概念自体あまりないためです。京都の場合なら京都新聞となるかもしれませんが、大阪の場合は朝日や読売等の全国紙を読んでいる人が多いです。投稿については希望者が投稿する形をとりました。もちろん小論文対策にもなりますが、そもそも自身の意見を表明することは民主主義の基本であり、それを体感させるために行っています。

- ② 先生の授業スタイルだと、どうしたら生徒が授業の目標に達したと考えますか、またその評価法は何でしょうか。(山崎高、中村)

今回の実践の場合は、それまでに学習した公共財や社会保障といった概念を活用し、価値判断、合意形成、集団での合理的意思決定を行うことができたなら目標達成だと考えています。

一般的に教育学では、そのような複雑な力が身についたかを見取る場合には、ルーブリックによるパフォーマンス評価を行うのが良いとされていますが、なかなかそこまでたどり着けていないのが現状です。市民的資質を育成するという社会科の理想と、まだまだ知識注入の授業を要求する大学入試の両方を念頭に入れながら、評価も含めて授業計画を組むようにしています。

■鍋島先生

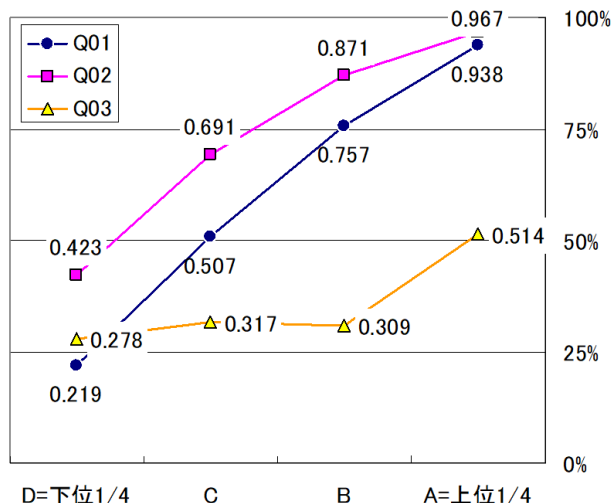
- スライド p.4 の、「テストに求められる性能①②」に関する具体的なデータがあったら教えてほしいです。独自入試をやっていますが、手探り状態なので知りたいです。(花巻東、夏井)

識別指数そのものは、下図のような処理で算出します。

設問 Q01 では上位 1/4 (A) の正答率から下位 1/4 (D) の正答率を引いた、0.719 となり、Q03 では 0.236 となります。通常 0.2 を超える程度を目安とし、0.4 以上になると良問とされます。下図左端の表では正答 = 1、誤答 = 1 と入力されていますが、各設問の正誤情報の代わりに、大問の小計を入力するなどの「応用」(厳密な意味での識別指数ではなくりますが) もできます。

総合	順位	階級	Q01	Q02	Q03
50	4,644	C	1	0	0
56	3,282	B	1	1	1
75	61	A	1	1	1
59	2,618	B	1	1	0
73	154	A	1	1	1
68	747	A	1	1	0
67	904	A	1	1	0
74	107	A	1	1	0
73	154	A	1	1	0
54	3,745	B	0	1	0
68	747	A	1	1	1
70	443	A	1	1	0
70	443	A	1	1	1
71	317	A	1	1	0
67	904	A	1	1	1
72	234	A	1	1	1
66	1,110	A	1	1	0
72	234	A	1	1	1
64	1,498	A	1	1	0

	I	J	K	L	M	N
ここにページのフィルターをドラックします						
平均 / 学診正誤42	階級					
	A	B	C	D	総計	
集計	0.514	0.309	0.317	0.278	0.358	



本来、識別指数は、実施された試験の中に閉じて処理・利用されますが、横軸のA～Dを「入学から一定期間を経たときの学業成績」（高校では模試偏差値や定期考査の点数、評定など）を、縦軸に入学者選抜での得点や正答率を置くことで、“テストに求められる性能①”にある「点数と選抜後のパフォーマンスが正しく相関するかどうか」を確かめられます。なお、ご質問の趣旨には含まれていないと思いますが、②「受験を機会に、学びのメタ認知を形成できる」については、模試や考査のやり直しなどを通じた振り返り学習においてリフレクションシートを提出させ、好適記述の出現頻度をカウントするなどの方法で定量的に測ろうとしている実践もあります。成果が確認できたら別の機会にご紹介いたします。

■佐藤先生

- 講義内で需要曲線、供給曲線が出てきましたが、待機児童問題でこれを使うとかえって理解が難しくなるのではないかと思いますのでいかがでしょうか。（山崎高、中村）

待機児童問題は現代社会の重要な問題の一つであり、この問題に対して多様な視点で考えることが求められています。社会問題に対する多様な視点の一つに経済の視点があり、需要曲線・供給曲線を用いて現代社会の問題を考えることは最も基本的な経済の視点です。決して容易ではないにせよ、現代社会の問題に対する視点として必須であると思います。もちろん、できるだけ平易に経済の視点を教えるための工夫は必要です。経済教育ネットワークの活動を活用されるとよいかと存じます。

■橋本先生

- ① 「手続きの公正」の理解が難しいとされていましたが、どう指導したらよいかヒントをいただきたいです。(府中2中、石田)

「手続きの公正」は「みんなが参加して決めているか、だれか参加できていない人はいないか」ということとして、学習指導要領では説明されています。おそらく参加すべき範囲がどこまでなのかが問われ、それがイメージできるかにかかっているかと思います。参加すべき範囲は、当日の小生の資料だと「権利」がある人、と説明したと思いますので、そのあたりを丁寧に説明する等、工夫が必要です。

- ② 「構想」とはどのようなもので、生徒のどのような状態を目指せばよいのでしょうか。(同)

「構想」するとは、小生の理解だと、「制度のあり方」を考えるイメージです。例えば、消費税増税すべきか、といった論題も、「制度のあり方」を考えるテーマになるかと思います。ただ、中学生の発達段階もあるので、考えるきっかけ作りでも良いかと思います。その問題の解決策を考える、というところまではせず、この制度のまま大丈夫か、といった問題意識が持てる段階で止まっても良いかと思います。

- ③ 「知識の活用」は授業では難しいです。高校入試でも活用問題が出てくるとするとその対策はどうなりますでしょうか。(沼津原中、今泉)

昨年度の都道府県高校入試の一覧(冊子)を拝見すると、知識の活用をイメージさせる特徴的な出題が散見できます。是非、参考にして頂いて、活用を普段の授業などでも応用して頂ければ幸いです。

■河原先生

- ① ネタの仕込み方を教えてほしいです。(目黒十中、佐々木)

とにかく書籍の多読です。教育書だけではなく新書、雑誌等、気になるテーマについては購入し読むことが大切です。また新聞も常に目を通し、何か気になることがあればネット検索や電話や現地取材をします。様々な研究会への参加も不可欠です。

- ② 男子トイレの数が不足していましたが、これは効率と公正の導入ネタにならないのでしょうか。(目黒中央中、波多野)

女子トイレの数が不足するケースはよくありますが、今回は男性の参加が多く、トイレが混雑していました。会議や研修会の内容により、不足数は異なります。解決の方法は難しいですが、ユニークな意見がでる題材で、盛り上がりそうで、導入には最適かなと思います。ぜひ実践してください。また、ユニークな対策をしているところがあれば取材したい

ですね。

■ 卜部先生

- 大学の地理学で、どのような課題を提示しているか、どのような AL の授業をやっているか？学力の低い生徒に対する対応の関心から教えてもらいたい。(千住桜堤中、一刎)

別PDF参照。

その他要望など

■ 篠原先生

- ① 金解禁についてもう一度聞きたい。
- ② ブレトンウッズをもう少し聞きたかった。

■ 主催者に

- AL に関する教材、今回の夏の教室での教材など簡単に利用できるサイトが欲しい、教えてもらえないか。

JPX ホームページにて、弊社が関わっている学校向け教材の紹介をしております。

<http://www.jpx.co.jp/learning/education/school/materials/index.html>

また、以下の教材に関しては別途ページをご用意しております。

【株式学習ゲーム/株式会社を作ろう！/ケーザイへの3つのトビラ】

金融経済ナビ <http://kinyu-navi.jp/index.html>

以上